

朝岡興禎編『古画備考』三十一「浮世絵師伝」（嘉永三年四月十七日起筆）

宮川 菱(へ)川流

門人

長春【正徳中人】

—— 春水【大和画師、住芳町】

—— 勝川春水【藤四郎、住深川後芳町】

享保頃【

寛保頃【

【宮川春水門人（イ新）】

勝川薪水【住本銀町四丁目、薩摩座の俵、宝曆明和之頃】

同門人

勝川春章【住人形町、初称宮川氏、当代似貌名人、明和安永頃】

明和頃、歌舞伎役者似貌ヲ画テ大ニ行ル、五人男ヲ始トス、其頃人形町、林屋七右衛門ト云ルニ寓居シテ、画名モ無リシカバ、林屋ノ請取判ニ、壺ノ中ニ、林ト云ル文字アリシヲト云ルニ寓居シテ、画名モ無カリシカバ、林屋ノ請取判ニ、壺ノ中ニ、林ト云ル文字アリシヲ印トセリ、人呼テ壺屋云、弟子春好ヲ小壺ト云ト、武者ヲモ能画シ也

遺跡志二寛政四年十二月十一日没、西福寺（イ本願寺）ニ葬、

画本舞台扇二冊、彩色絵板、序西鶴ノ子東鶴【于時六十寅ノ春ト有】役者ノ似貌尽シ

之画八春章文調兩筆

跋二発句集有、其内春章ノ句ニ云、

春章印（「林」壺印）

風を絵にかく時ならば柳かな

旭朗并勝春章画「印章」（文字なし、方印枠のみ）遊女乗象雲中ノ図、絹、千蔭の賛有

門人

春好【住長谷川町、早世】

春朗【今改宗理俵屋】

春英【号九徳齋】

—— 春徳

【文政二年七月廿六日死、五十八歳、東本願寺中善照寺ニ葬、牛島長命寺ニ碑アリ、六樹園ノ文也、武江年表】

春章門人

春好 勝川

春英【勝川九徳齋、寛政年間】

春常

春山

春徳

春林、

春潮

春玉

其餘数多あり、武江年表